

こんにちは「うらが」艦長の藤田です。

今年3月11日「東日本大震災」が発生し、東北地方太平洋沿岸部は甚大な被害を受けました。

海上自衛隊 掃海部隊は被災地で捜索救難・支援物資輸送及び入浴支援を行ってきました。

それでは、「うらが」の4月～6月までの活動を写真を添えて紹介させていただきます。

掃海母艦「うらが」艦長 1等海佐 藤田 毅



撮影 うらが応急長

朝1番に処分艇(ゴムボート)に乗り込み海上捜索に向かうEOD(水中処分員)の勇姿です。

艦尾門扉(艦の後部の扉)から処分艇が発進！海上捜索に向かいます。



撮影 うらが敷設長



現場は、瓦礫が多く水中視界も悪いことから、2次被害を避けるため瓦礫の上から搜索しています。



「うらが」乗員も搭載艇に乗艇して洋上から搜索しております。

皆、真剣な眼差しで瓦礫の中、潮だまりの中等沿岸部を搜索しています。



撮影 うらが敷設長

堤防が崩壊、航路標識も流される等、被災地では港湾施設も大きな被害を受けました。



撮影 うらが応急長

海上捜索のほか、掃海母艦である「うらが」の重要な任務は、掃海艇に対する補給(燃料・真水・補給物品)です。